

平成三十年度交通安全ファミリー作文コンクール優秀作品集の発刊に当たって

昨年の交通事故による死者数は、三千五百三十二人で、警察庁が保有する昭和二十三年以降の統計で最少となった前年を更に下回りました。交通事故で亡くなる方は、一人人を超えていた平成五年から、四半世紀で三分の一以下に減少しています。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、飲酒運転等の悪質・危険な運転による重大な交通事故も依然として後を絶たない状況にあります。

このような状況のもと、第十次交通安全基本計画に基づき、世界一安全な道路交通を実現するためには、引き続き国民の皆様一人一人が交通ルールを守り、交通マナーを実践していくなど、積極的に交通安全に関わっていくことが必要です。

「交通安全ファミリー作文コンクール」は、家庭、学校、職場、地域等において交通安全について話し合ったこと、また、これらを通じて思ったことや感じたことなどについて、作文を通じて国民の皆様が共有することで、具体的な交通安全活動の実践につながる取組みとして四十年の永きにわたり続いてまいりました。

今年度も、小学生から高齢者まで幅広い年代の方から一万二千九百四十三点という多数の応募を頂きました。

本書は、その応募作品の中から、最優秀作（内閣総理大臣賞）を始めとする優秀作品をまとめたものであります。この作品集を通じて、国民の皆様が交通事故のない社会を願う気持ちを共有し、そのことがさらなる交通ルールの遵守と正しい交通マナーの向上につながることを心から期待しております。

結びに、本事業の実施に当たり、御協力いただいた関係の方々には厚く御礼申し上げます。

平成三十一年二月